



2020-2021年度R.I.テーマ  
ロータリーは機会の扉を開く



2020-2021年度 宇多村海児会長

第2878回 例会  
2021. 6. 3

会長あいさつ

週報 No.2170  
発行 2021年 6月 10日  
2020-2021年度  
会長 宇多村海児  
幹事 深澤 圭司  
副会長 斎藤 修弘  
副幹事 長沼 大策  
編集責任者・公共イメージ向上委員会  
委員長 坂 佳三

行事予定

6月17日 クラブフォーラム⑥  
『一年を顧みて』  
役員・理事・委員長  
による卓話

6月24日 最終例会  
(例会時間変更)

皆さん、こんにちは。本日も例会にお運びいただき誠にありがとうございます。ついに本年度も残すところあと1カ月となりました。6月も皆さまよろしくお願ひいたします。本日は私が所属しております青年会議所の時のお願いをさせていただきます。金融の世界でよく使う言葉「ヒステリシス」という言葉があります。金融の世界でよく使う言葉なんですけれども、もともとはある物事に強烈な衝撃が加わると元に戻らなくなってしまう状態をあらわしています。今回のこの全世界を覆うパンデミックも後にそのキッカケの一つと言われるのではないかなと思います。話を15年ほど遡ります。15年前の2月、東京、九段会館の大講堂で、北方領土周辺の地下に眠るとされる豊富な資源開発の必要性、それと漁業、魚や豊富な海の幸の維持・保全の重要性を訴える一人の大柄な青年が、首相や国会議員を前にして壇上で熱弁をふるう姿がありました。その青年とは当会会員の門崎由幸会員の、若き日の姿でした。当時、日本青年会議所の領土・領海問題委員会の委員長として門崎会員は出向されていて、私も1年間、2006年度に同委員会メンバーとして門崎会員と一緒させていただきました。九段会館ではその日、北方領土返還要求全国大会で門崎委員長が演説し、満員で熱気ある大講堂で彼の雄姿を目の当たりにしました。私も門崎委員長がああいう場所でスピーチをされると、しかも北方領土に対する熱い思いを語られるということで心が動かされました。あらためて日本と海を考えるよいキッカケになった1年でした。日本青年会議所が領土・領海問題を世に訴えるというのは最近始まったことではなく、昔から、それこそ終戦、まさにヒステリシスのキッカケになったものでしょうけど、北方領土が他国に奪われて、今も外務省のホームページには日本の領土だという姿勢を崩していないのですが、なかなか現実はそのようにはいかない。そこで声をあげるという役割を果たしてきたのが日本青年会議所そして各地の青年会議所です。私は学生の時に学んできたことよりも、青年会議所にて、領土・領海問題に携わってこれたというのは、新しい門を開いてくれたといえますか、特にその年は根室の沖で日本の漁船がロシアの警備艇に銃撃・拿捕され、一人の漁師の方が亡くなるという事件もあったこともあ

Rotary ROTARY CLUB OF AGEO

り、緊迫した1年ではありましたが、その現場にいられたことによってそれまで知らなかったことを多く学んできたことができたなと思っております。日本青年会議所は現在もその運動を続けており、6～7年ほど前に日本全国の小学生を対象に、領土教育についてアンケートをとったことがあります。その中で海のこと、日本の国土のことをもっとよく知りたいという小学生が実に7割を超えていたという結果がでたのを私は喜ばしく思っています。とかく、領土のことを教育するとイデオロギーの話になってしまうというふうに誤解される教育関係者の方がいたのも事実でございます。従って初等教育の段階から領土・領海の話は遠ざけられてきた感がございます。にもかかわらず長く声をあげてきた成果が今実りつつあると言っても過言ではないと思います。私が青年会議所を卒業して数年、ちょうど体が小学校3年か4年ぐらいの時、たまたま何かのキッカケで「九州・四国を除いて日本でいちばん大きな島はどこか知っているか」と質問したら、「択捉島」と即答された時に私はたいへん嬉しくなりました。一度失ったものをまた元に戻していく作業はなかなか時間や手間がかかり、すぐには戻ってこない。ようやく戦後半世紀以上も経てようやくその段階にいまきているということを改めて、強い衝撃がくるとなかなか元に戻らないと冒頭に述べましたが、まさに領土・領海の問題もその一つだったとその時感じた次第です。平成28年の小中学校の教科書から領土・領海問題のことを詳細に書くようにという指針が発せられました。たいへん望ましいことだなというふうに思います。その甲斐あってか門崎委員長が演説をした翌年、海洋基本法という法律が施行されました。12の基本計画から成り立ってしまっていて、海洋資源の開発、離島の保全ですとか、そういったものを一体となって推進していくということが盛り込まれています。7月で海洋基本法が施行されてから丸14年となります。まだまだこの先長い、どのような結末が待っているのかわかりませんが、個人的にも北方領土が日本に返ってきてもらいたいという者の一人です。ちょっととりとめもないお話しになりましたが、青年会議所の思い出として、本日はこれを会長あいさつに代えさせていただきます。

本日は、臨時総会と新旧委員長卓話が控えていますので、このあたりをしていきたいと思っております。本日もよろしくお願いいたします。

幹事報告

深澤 圭司幹事

◇6月のロータリーレートは1ドル=109円です。以上です。



委員長報告

親睦活動委員会 坂本忠光委員長

6月24日(木)18:30から、最終例会を開催いたします。場所は当会場、フローラを予定しています。おいしいお料理を堪能していただき宇多村年度の一年間最後の例会として皆さんで思い出話をしていただき、また翌週から始まる斎藤修弘年度の門出を祝える例会にしたいと思います。ぜひともご出席のほどよろしくお願ひいたします。

米山記念奨学生ビデオメッセージ

2021学年度 ロータリー米山記念奨学生 荘正字さん

皆さん、はじめまして。荘正字(ソウ・セイウ)と申します。台湾人で、今年25歳になります。日本語を勉強しています。今年4月に日本薬科大学で博士課程に入りました。私の研究は漢方薬に関することです。いまコロナのため日本に行けません。私は米山記念奨学生になって日本に行ったら、皆さんと交流し、貢献したいです。どうぞよろしくお願ひいたします。



臨時総会

クラブ細則一部改正についての臨時総会が開催されました。クラブ細則第5条にある定足数、および第16条の改正手続きに則り、細則の一部改正が賛成多数で認められました。

例会主題～クラブフォーラム③

新旧委員長会議

出席委員会 村岡武仁委員長

昨年度から続いているコロナのため、私以上に会長・幹事が頭を痛められたのではないかと思います。何をどうしようということではないの



Rotary ROTARY CLUB OF AGEO

ですが、それぞれの会員のご事情の許す限りご出席いただいているのだと思います。私自身は宇多村会長のあいさつがバラエティに富んでいるので楽しみにしながら例会に出席しております。皆さま方も例会に何かの意義を見出して出席しているのではないかと思います。一年間お世話になりました。ぜひこれからも出席をよろしくお願ひいたします。

親睦活動委員会 坂本 忠光 委員長

今年度は、昨年8月4週に須田直前会長を慰労する親睦家族例会、12月にクリスマス例会、今年1月に氷川鉾神社で新年例会、また今年第4週に最終例会を企画させていただきました。これも会員全員のご協力のおかげで開催できていると思っています。本当にありがとうございます。来年に向けては1メンバーとして会長の力添えができればと思っていますので、よろしくお願ひいたします。



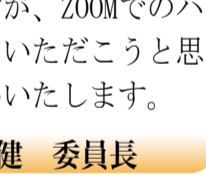
プログラム委員会 小田切 宏治 委員長

本年はコロナ禍のため、会員卓話を中心に展開しましたが、なかなか苦勞した一年でした。次年度以降もコロナの影響が少なからずあると思っております。Zoomでのハイブリッド開催など、ご協力させていただこうと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



会員増強維持委員会 島村 健 委員長

今年度は2名の増強で会員数38名となっています。次年度は3名増強が目標とのことです。毎年のことで、コロナ禍ではありますが引き続きのご協力をお願いしたいと思います。



職業奉仕委員会 大塚 信郎委員長

クラブでは今年2月に向井弁護士をお招きして、職業奉仕講演を開催しました。地区では6月1日に諮問委員会に出席したところ福島県の佐原パストガバナーがコロナで亡くなったと聞きました。今後も、コロナの変異種がでてきていますのでまだまだこの状況は続くかなと思っています。



社会奉仕委員会 尾花 正明 副委員長

コロナ禍ですが献血を昨年8月と今年4月に実施しました。

嬉しく思っているのは、皆さんがコロナ禍でどんな活動をしているかお話をされ、須田さんや大塚崇行さんなど多くの方が個人レベルで社会奉仕していることです。私はロータリーの原点はクラブではなく個人だと思うんです。こはあくまでトレーニングの場ではない、一人一人個人になった時にどういった活動ができるかが社会奉仕の原点だと思っています。そういう風に考えますと上尾クラブは知らず知らずのうちにそういう考え方が定着しているのかなあという気がしました。



残念だったのは障がい者作品展会で、コロナ禍で中止になりましたが、市の職員が提案した企画は本来の主旨にそっていないと感じました。来年もがんばっていききたいと思っております。

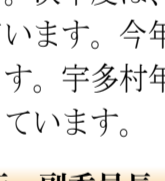
国際奉仕委員会 大木 保司 副委員長

国際奉仕はコロナ禍でなかなか難しい一年でした。今年はベトナム・ダナンに日本語の絵本の寄贈を計画したのですが、まだ事業が完結していません。諸般の事情があつて我々の力では進めることができないのは仕方ないことです。次年度は、やれることをやるしかないと思っています。今年の事業が若干遅れこむ可能性もあります。宇多村年度の事業を完結できるといいなと思っています。



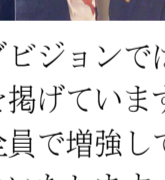
ロータリー情報委員会 大塚 崇行 副委員長

次年度は会員増強維持委員長で、先ほど島村さんの純増を目標として、次年度は3名の純増を目標として会長エレクトから伺っておりますので、近づけるように思います。またクラブビジョンでは60周年までに会員50名にすると目標を掲げていますので、皆さん方からご紹介いただき全員で増強していきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。



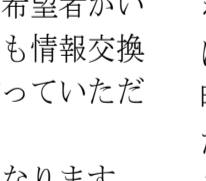
青少年奉仕委員会 門崎 由幸 委員長

今年度は事業ができませんでした。ワクチンの接種が進んでいますので、来年度は今年と違った形で事業ができればと思います。インター



ロータリー財団委員会 須田 悦正 委員長

私は寄付されたお金が有効に使われていると認識できているので、年初は、財団のお金の流れを入会3年未満の会員に藤村地区財団部門・補助金運営委員長に教えていただく地区補助金を活用したベトナム・ダナンへの国際奉仕の検証が昨年度もできていないので、次年度には現地に行きたいなと思っています。



来年は米山記念奨学委員長の予定ですが、先ほどビデオメッセージをいただいた荘さんはまだ日本語を勉強中ということなので、カウンセラーとして勉強を手伝いたいと思っております。

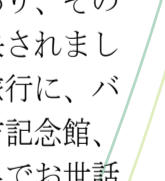
米山記念奨学・学友委員会 島村 健 副委員長

今年は地区の米山記念奨学部門・学友選考委員長

を務めさせていただきました。次年度は増進委員長になります。米山は5月29日に入学式があり、その時に荘さんからのビデオメッセージも放映されました。6月5日(土)には日帰り研修バス旅行に、バス3台で行くが予定です。行先は米山梅吉記念館、三嶋大社、ほか観光になります。今回上尾でお世話をする荘さんは、地区でも初めの海外枠での受け入れになります。先日、日本薬科大学の先生に面会したら、Zoomを使ってオンラインで授業を行っているそうですし、台湾には日本薬科大学と提携している学校がありそこでも連絡をとっているとのことです。期間は2年になります。まだ来日できていませんが、いずれ日本に来れると思いますので、皆さん、どうぞよろしくお願ひいたします。

斎藤 哲雄 S.A.A.

10年ぶりにSAAを務めさせていただき、例会終了後に次の例会の打ち合わせをして1年間進めてきました。皆さんが出席しやすいような環境づくりと、例会に出席して良かったと思ってもらえるように考えながら動いてきたつもりです。皆さんのご協力によって時間どおりに成り立っています。1年あつと言う間でしたがご協力、ありがとうございました。



スマイル

宇多村会長 次年度に向けて益々盛り上げて行きましょう!  
深澤副会長 本日も宜しくお願いいたします。  
斎藤副会長 本日も宜しくお願いいたします。  
長沼副幹事 次年度委員長の方は委員会方針のご提出をお願いします。  
尾花会員 定款・細則変更の準備、ご苦勞様です。

武重会員/岡野会員/大塚信郎会員/  
村岡会員/大木保司会員/大塚崇行会員/島村会員/久保田会員/  
斎藤哲雄会員/須田会員/門崎会員/坂本会員/坂会員/奥川会員/  
関口良康会員/山崎会員

出席率	
会員数	38
出席数	25
欠席数	13
65.79%	

